

# 北海道教育大学五校同窓会

## 会長・理事長・専務理事・事務局長・幹事長会議



デザイン:奥野郁男氏(S36年卒)

令和5年9月9日(土)16:00から、  
標記の北海道教育大学五校同窓会の会長・理事長等会議が釧路センチュリーキャッスルホテルで開催されました。今年度は北海道教育大学鶴陵会が会議の主管となり対面で開催されました。北師同窓会からは、塚野会長が参加されました。

自己紹介に続いて行われた協議「各同窓会の現状と課題」の要点をお知らせします。

**北師同窓会**～「コロナ後の同窓会活動と新入会員募集方法について」「学長及び道教育委員会教育長との懇談会の再開について」「学長及びキャンパス長の人事について」など

**夕陽会**～「ゼロ免過程による、教員になる人材が減少していること、また、民間公務員になっている人材をどのように同窓会員として取り込むかが課題であり、職種を超えた組織化が今後望まれること」「若手育成も組織化への課題であり、指導主事会の支部化も考えていること」など

**六稜会**～「令和9年に同窓会100周年、今年度は旭川校の100周年であること」「コロナ後の組織強化として組織活動の活発化を図っていること」「管理職になる人材が減少していることを受けて、管理職育成も課題であること」「大学の目標値に届かないこともあり、どのように大学をバックアップしていくのか検討していること」

**青陵会**～「今年度、岩見沢校と青陵会の100周年なので、記念行事、記念誌発行などを大学と連携しながら準備を進めていること」「教員になれない状況が続いており、なりたいたいと思う学生も教員数も減少しており、教職アドバイザーなどを置き対応していること」「組織として教員以外にも公務員を取り込んでいく工夫が必要であること」「ホームページを工夫して、本部と支部の連携を図っていること」

**鶴陵会**～「新入会員の募集については、大学(釧路校)との連携を図っていること」「組織としては20支部で活動しているが、関東支部が機能しておらず、今後何らかの手当てが必要になると考えていること」「僻地教育を活かした教育を基幹としているが、少子化もあって学生の減少傾向が続いており、大学とともに考えていかななくてはならない。そのためにも、教科教育法などの講義に同窓会のOB等を積極的に活用していくなどしてつながりを取っていく必要があること」

最後に、来年度の開催日は令和6年9月14日(土)、主管(青陵会)を確認して終了しました。